

島田氏の足跡後世へ

県内野球関係者ら 顕彰期成会を設立

1945年1月に沖縄県知事に就任し、戦火の中で消息を絶った島田毅氏。野球を愛した同氏の生きた証しを残そうと、県内の野球関係者らが27日、島田毅氏顕彰期成会を設立した。署名活動を通じ、那覇市奥武山総合運動公園内の多目的グラウンドの整備や沖縄セルラースタジアム那覇の資料室に島田コーナ―設置などを目指す。

島田氏は兵庫県に生まれた。沖縄本島への米軍上陸が迫る45年1月に県知事に就任した。海、空ともに米軍の支配下にある状況で自

ら台湾に渡って交渉し、那覇に米を持ち帰り疎開者の多かった本島北部へ送るなど尽力したことから「島守」と呼ばれる。同年6月に糸満市摩文で消息を絶ち、遺骨は現在も発見されていない。同氏は、旧制神

戸二中時代から東京帝大を通じて野球部員として活躍した。同氏がきっかけとなった兵庫県と沖縄県の交流の歴史は古く、72年には沖縄・兵庫友愛連携が調印され、友愛スポーツセンターの建設や友愛キャンプと呼ばれる人事交流事業が行われている。また64、84年に兵庫県の有志から沖縄へ「島田杯」も贈られた。同杯は現在も県内の高校野球新人大会優勝トロフィーとして優勝校に贈られている。

27日に那覇市松尾の城岳同窓会で開かれた設立総会には県内の野球関係団体や

那覇・首里両校同窓会の関係者らが出席した。期成会会長は元副知事で県水二ベースボール協会顧問の壽数昇明さんが務め

る。会長に就任した壽数さんは「島田さんが県民に尽くされた思いを伝えたい。事業の早期実現を目指すと決意を述べた。」



島田毅氏



野球ボールのイラストが入った島田氏のサイン

ご署名をお願いいたします

神戸出身の戦中最後の沖縄県知事島田毅さんの顕彰碑建立する署名です。

署名の際は、自筆をお願いいたします。

住所は、兵庫県から始めてください。

上の欄と同じであっても、「同上」と書かないでください。